



2026年5月15日

各 位

本社所在地 東京都墨田区横網 1-10-5
 KOKUGIKAN FRONT BUILDING 3階

会社名 Bitcoin Japan 株式会社
 代表者 代表取締役社長CEO フィリップ・ロード
 (コード番号 8105 東証スタンダード)

問合せ先 執行役員管理部長 矢部 和秀
 (TEL 03-6824-9481)

2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2025年11月10日公表の2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期連結業績予想数値と本日公表の連結実績値につきまして、差異が生じておりますのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	△200	△190	△230	△4.09
今回修正予想(B)	2,959	△462	△482	△537	△9.26
増減額 (B - A)	△241	△262	△292	△307	
増減率 (%)	△7.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	3,098	△355	△300	△407	△7.24

(差異が生じた理由)

売上高については、ファッション事業において百貨店SHOP売場への出店強化やショップチャンネルとの取組拡大、きもの事業においては百貨店での1社体制売場展開の拡大を推進した結果、一定の効果が見られました。しかしながら、猛暑や暖冬の影響により季節商材に対する消費者の購買行動が変化し、婦人洋品の売上に大きな影響を及ぼしました。加えて、ファッション卸事業およびマテリアル国内事業において受注が伸び悩み、売上高は減少いたしました。

経費面では、ファッション事業におけるミセス向け百貨店SHOPの拡大および、きもの事業における百貨店での1社体制売場展開の拡大に伴い、新たな人材投資を実施いたしました。また、2025年8月4日に公表した「親会社、その他の関係会社、主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動」に伴う当社株式の譲渡

を受け、2025年11月11日開催の臨時株主総会において定款変更を実施しております。これにより、暗号資産等の新規事業推進に向けた内部統制の構築や税務検討に係る費用、ならびに新株予約権の行使による資本金増加に伴う外形標準課税の計上などが発生し、経費は大幅に増加いたしました。

営業利益については、売上高の大幅な減少に加え、資源価格の高騰による原材料費の上昇や仕入価格の上昇、円安による輸入商品の価格高騰の影響を受けたこと、さらに経費増加が重なり、営業損失は462百万円となりました。

経常利益については、前述の株式譲渡に伴い、新規事業に係る資金調達の検討や臨時株主総会開催に関連する費用等を計上した結果、経常損失は482百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、2025年11月10日に公表した「営業外費用、特別損失（減損損失）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、保有する一部固定資産について収益性の低下が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失42百万円を特別損失として計上いたしました。この結果、当期純損失は537百万円となりました。

以上